



高萩市のみなさま、初めまして。前任地の水戸協同病院では「筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター」が設置されて以来9年間勤務していました。専門は消化器外科で、腹部の救急疾患の診断から手術までがスムーズに行なわれるような体制づくりに取り組んできました。迅速に診断して早期に手術を行なうことにより、患者さんが退院するまでの期間を短縮させ、合併症も減らすことができました。また、最近増えてきている「大腸がん」の手術に対して腹腔鏡手術を導入し、術後の化学療法も積極的に行ってきました。



JA茨城県厚生連
東北医療センター
高萩協同病院
こんどう ただし
病院長 近藤 匡 先生

当院は2年前から水戸協同病院より3名の非常勤内科医師が派遣され、常勤2名の医師とともに内科診療を行ってきました。この4月からは「高萩サテライトステーション」として水戸協同病院からさらに2名の医師を常勤として迎えて診療体制を強固にしており、今後は高血圧、糖尿病、がんなどの疾患を、診療科の垣根をこえて診療することができるようにしてまいります。産科診療についても地域や水戸の病院と連携して、これまで同様にお産が維持できる体制をつくりました。さらに小児科診療ができるように招致活動を引き続きおこなってまいりたいと思います。

当院がみなさまに信頼される病院となれるように取り組んでいきたいと思っています。



市役所がどんな仕事をしているかご存知ですか？市民の皆さんに市役所のことをもっと知ってもらいたい！一番身近な行政として活用してもらいたい！ということで、このコーナーでは若手職員の間を通して、市役所の業務について紹介していきます。

第1回 企画部

企画広報課 主幹 小宮 緑



企画と広報・広聴の2つのグループからなる私が所属する企画広報課は、市役所3階にあります。

企画グループでは、市の総合計画の策定や企業誘致、市街地活性化方策の検討、情報化推進など、とても幅広い業務を行っています。

私は広報担当3年目で、市報の作成やホームページの運営、SNSの活用などが主な業務です。市や地域のイベント、お祭りなどの取材でお話を伺ったり、写真を撮ったりするためによく市内を歩いています。

春は桜、秋は紅葉と巡る季節を追いかけることも仕事で、海も山もある自然豊かな高萩の魅力を再発見する日々です。

昨年は新庁舎が開庁したり、ひよっこの放送があったり、松中が全国駅伝大会に出場したりと話題が盛り沢山でした。今年も良い話題がいっぱいあるといいなと思っています。まちの話題があればぜひお声かけください。



寄付をいただきました。

日本赤十字社救援車両

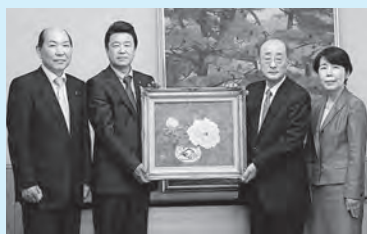
3月29日(木)に日本赤十字社茨城県支部において、救援車両1台の寄贈を受けました。これは、県内各地域における災害救援並びに奉仕団等の活動推進を図ることを目的とした災害救護資材配備事業によるものです。日本赤十字社茨城県支部は、皆様の寄付をもとに様々な事業を行っています。



村田 猛さんの絵画

4月3日(火)に本市にゆかりのある日本画家 村田 猛さんの絵画の寄贈を受けました。

作品は「松曲」と「牡丹」の2点で、村田さんの御子息である村田 亮さんから市長に手渡されました。村田さんは「少しでも市民のみなさんに潤いを届けられれば」とごあいさつ。いただいた絵画は、庁舎4階の展望ロビーに飾られています。



文部科学大臣表彰を受賞

高萩市訪問型家庭教育支援チーム(舟生尚之リीडァー)が、地域における家庭教育支援活動の功績が認められ、3月15日(木)に国立オリンピック記念青少年総合センターにて文部科学大臣から表彰を受けました。舟生リीडァーは「学校だけでは支援が困難な家庭を訪問し、学校と家庭をつなぐ役割を果たしていきたい」と話しました。(写真中央が舟生リीडァー)

